



MBニュース



【2021年度中国麻筍産地情報①】

丸松物産株式会社

2021年産新物麻筍について、麻筍の主産地の広東省は春先から50年ぶりの酷い干ばつが続いたため、各工場の生産開始時期は例年より10日-15日遅れて7月10日前後になり、大暑(7月22日)を過ぎ生産ピークを迎えました。現在は降水量も気温も問題なく、良質で生産量も上々です。原料価格は中国国内消費が旺盛であり、各工場の昨年在庫がほぼ無くなったため、昨年同期と比べ20%程高くなっています。加えて、先月号でもお伝えした通り、資材(ラベル、缶、段ボール)、海上運賃の等の間接的経費も高止まりになっています。

麻筍の生産時期(福建省、広東省)は9月まで続きますが、8月以降は台風の発生や天候次第で大きく左右されます。来月号で続報をお知らせします。



【中国 2022年には「世界の工場」の地位が失われる？】



中国では若年層の深刻な製造業離れが起こっています。今年4月の中国国家統計局のデータによると2020年の出稼ぎ労働者は2億8560万人で、前年比517万人減少しました。同労働者数は2012年から毎年1~2%減少しています。また、製造業に従事する出稼ぎ労働者の割合は2006年の32.5%から現在では27%程に減少しており、かつて多くの出稼ぎ労働者が流入した広東省、江蘇省、浙江省等の製造業が盛んな省でも現在では深刻な人手不足となっています。若年労働者が工場で働くことを敬遠していることが原因で、都心から離れた工場や過酷で危険を伴う現場を避ける傾向が高まっており、賃金を上げて集まりにくい状況です。この状況を打開するためには製造業の無人化を進める他ないのかもしれない。

日本でも1980年代のバブル経済時代に製造業が「3K(キツイ、汚い、危険)労働」と敬遠される傾向がありましたが、中国も同ような局面に遭遇しています。

【2021年6月4日付けCNS(China News Service)日本語版より一部抜粋】

【2021年5月12日付け新浪财经より一部抜粋】

【お勧め商品情報】

	商品名	匠庵 筍ゆば ゆずのしずく	調理例
	商品説明	透明なゆずジュレとたけのこの姫皮が生みだす爽やかなお惣菜。料理の付け合わせやお口直しとしても良い役割を果たしてくれます。是非お召し上がり下さい。	
	製品規格	800g×10	
	賞味期限	製造日より 4ヶ月	
	使用上の注意	直射日光、高温多湿は避け、冷暗所等涼しい場所に保存して下さい。また保存料は使用しておりませんので、開封後はお早めにお召し上がり下さい。	

クックパッド・丸松物産キッチンへGO



自社製品のアレンジメニューを「クックパッド 丸松物産」で検索していただくとご覧いただけます。